

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社fonfun

コード番号 2323 URL <http://www.fonfun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理部部長

(氏名) 八田 修三

TEL 03-5357-0303

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 394 | △25.7 | 40 | △23.0 | 35 | △34.8 | 90 | 119.1 |
| 23年3月期第2四半期 | 530 | — | 52 | — | 53 | — | 41 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 81百万円 (91.1%) 23年3月期第2四半期 42百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 34.42 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 15.71 | 15.49 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 890 | 252 | 27.1 |
| 23年3月期 | 846 | 171 | 17.8 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 241百万円 23年3月期 150百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----|-------|------|-------|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 700 | △31.0 | 59 | △17.3 | 53 | △28.5 | 109 | — | 41.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 24年3月期2Q | 2,661,720 株 | 23年3月期 | 2,661,720 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 24年3月期2Q | 40,898 株 | 23年3月期 | 40,677 株 |
|----------|----------|--------|----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 24年3月期2Q | 2,620,985 株 | 23年3月期2Q | 2,621,655 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P4「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 10 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 13 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災や福島第一原子力発電所事故の影響による、生産面を中心とした下押し圧力が依然強い状態にあるものの、震災で傷んだサプライチェーンも徐々に復旧し始め、復興に向けての動きも一部で見られます。しかしながら、その勢いは強くなく、依然として景気の先行きには不透明感がぬぐえない状況です。海外に目を向けても、ギリシャを始めとするユーロ圏の一部の国の不安定な財政状況や北アフリカ諸国の民主化など、国際的にも不確実性が増す中で円高が進んでおり輸出や国内民間需要にも影響を及ぼしております。

当社を取り巻く環境に関しては、業界再編、ビジネスモデルの変化と大きな変革期を迎えております。携帯電話市場に関しては、平成23年9月末における携帯電話・PHSの契約数は127,281,000件（前年同月比6.8%増 社団法人電気通信事業者協会調べ）であり、携帯契約総数の大幅な拡大が望めない中、iPhoneやAndroid端末等のスマートフォンの人気による買い換え需要は増大しており、携帯通信事業各社も、コンシューマー向け戦略では、スマートフォンへ注力した戦略をとっております。コンテンツ市場に関しては、引き続きSNS利用者を対象にした無料ゲームやソーシャルゲームの人気が高く、その利用者を対象にした有料コンテンツ提供や広告配信といったビジネスモデルが好調であり、またスマートフォン上で展開されるコンテンツ配信・販売プラットフォームが新たな市場として注目されております。

このような状況の下、当社グループは、「営業キャッシュ・フロー重視」「事業ドメインを明確にして経営資源を集約する」経営方針のもと、当第2四半期連結会計期間では、スリム化した体制で、当社の強みである既存事業の収益を維持しつつ、主力サービスであるリモートメールをスマートフォン対応とし提供を始めるなど、新たなサービスの開発・提供を実施いたしました。

当社グループの各セグメント別の業績は次のとおりであります。

① リモートメール事業

当第2四半期では「リモートメール」の個人版サービス・法人版サービスともにスマートフォン向けの正式サービスを提供できるようになっております。

「リモートメール」個人版サービスにつきましては、既存利用者の利用継続を第一目的に、他社サービスに対して優位性のある使い勝手のよさをさらに向上させる改善を継続して実施しております。また、既存携帯端末を対象にした携帯電話販売店舗における販促活動は、引き続き強化してまいりました。

「リモートメール」法人版サービスにつきましては、引き続き営業活動を強化し顧客獲得に取り組んでおります。NTTドコモが企業向けソリューションに対して認定するドコモプロスパートプログラムの認定による反響も大きく、順調に契約社数を伸ばしております。

また、光通信グループの携帯電話販売店にて販売している、当社子会社・株式会社FunFusionを販売元とする「モバイル活用パック」も引き続き売り上げに寄与しております。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は361百万円（前年同期比0.04%減）、営業利益は102百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

②コンテンツ事業

携帯電話向けコンテンツにつきましては、利用継続率の高い便利・ツール系サービスに絞り、携帯販売店での販促活動を中心に利用者の獲得をしております。

また、iPhone及びAndroid対応コンテンツの開発を積極的に進め、自社提供及び協業モデルでの展開を図っております。

上記の結果、コンテンツ事業の売上高は 28百万円(前年同期比46.5%増)、営業損失は5百万円(前年同期 営業損失9百万円)となりました。

③その他

その他の売上は、主に過去に発売した家庭用ゲーム機向けパッケージソフトのリピーター受注販売によるものであり、売上高は 3百万円、営業利益は0百万円となりました。

※前連結会計年度において「リモートメール事業」、「コンテンツ事業」、「テレマーケティング事業」と区分しておりました事業を、テレマーケティング事業の大幅な縮小にともない、当第1四半期連結会計期間より、テレマーケティング事業を「その他」に含め、「リモートメール事業」、「コンテンツ事業」に変更しております。

なお、テレマーケティング事業の売上高は0百万円(前年同期 144百万円)、営業損失は0百万円(前年同期 営業利益63百万円)であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 394百万円(前年同期比25.7%減)、営業利益 40百万円(前年同期比23.0%減)、経常利益35百万円(前年同期比34.8%減)、四半期純利益90百万円(前年同期比119.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は890百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産における現金及び預金の102百万円の増加、長期未収入金の減少67百万円であります。

負債の部は637百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円減少しております。主な要因は、不正事件関連損失引当金の減少21百万円、長期借入金の減少14百万円等であります。

純資産は252百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円の増加となっております。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は113百万円(前年同四半期連結累計期間は54百万円の収入)となりました。この主な要因は税金等調整前四半期純利益の計上82百万円、減価償却費の計上11百万円、未収入金の減少額64百万円、売上債権の減少11百万円等の資金増に対し、不正事件関連損失引当金の減少21百万円、貸倒引当金の減少60百万円等の資金減があったものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は7百万円(前年同四半期連結累計期間は38百万円の支出)となりました。この主な要因は、敷金保証金の回収による収入14百万円、有形固定資産の取得による支出8百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は17百万円(前年同四半期連結累計期間は3百万円の収入)となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出11百万円であり、短期借入金の純減額6百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年8月10日に発表を致しており、当社及び子会社の現時点での予測に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 382,834 | 485,586 |
| 売掛金 | 199,319 | 187,609 |
| 製品 | 35 | 65 |
| 短期貸付金 | 12,535 | 7,200 |
| 未収入金 | 56,149 | 29,700 |
| その他 | 25,489 | 15,680 |
| 貸倒引当金 | △38,140 | △44,026 |
| 流動資産合計 | 638,222 | 681,814 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 48,648 | 44,991 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 11,618 | 8,454 |
| ソフトウェア仮勘定 | — | 900 |
| その他 | 499 | 499 |
| 無形固定資産合計 | 12,118 | 9,854 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 86,001 | 112,011 |
| 関係会社株式 | 25,381 | — |
| 長期貸付金 | 1,129 | 5,029 |
| 長期未収入金 | 1,419,569 | 1,352,397 |
| その他 | 10,585 | 12,943 |
| 貸倒引当金 | △1,395,615 | △1,328,942 |
| 投資その他の資産合計 | 147,052 | 153,440 |
| 固定資産合計 | 207,819 | 208,286 |
| 資産合計 | 846,042 | 890,101 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,133 | 2,448 |
| 短期借入金 | 317,708 | 314,760 |
| 未払金 | 84,856 | 95,860 |
| 未払法人税等 | 4,535 | 3,776 |
| 賞与引当金 | 2,146 | — |
| 偶発損失引当金 | 59,406 | 61,284 |
| 不正事件関連損失引当金 | 21,430 | — |
| その他 | 11,851 | 5,755 |
| 流動負債合計 | 504,068 | 483,885 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 151,060 | 136,180 |
| 退職給付引当金 | 11,752 | 13,141 |
| その他 | 7,567 | 3,935 |
| 固定負債合計 | 170,379 | 153,256 |
| 負債合計 | 674,447 | 637,141 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,242,605 | 2,242,605 |
| 資本剰余金 | 636,561 | 636,561 |
| 利益剰余金 | △2,555,627 | △2,464,786 |
| 自己株式 | △173,250 | △173,298 |
| 株主資本合計 | 150,288 | 241,081 |
| 新株予約権 | 1,148 | 208 |
| 少数株主持分 | 20,157 | 11,669 |
| 純資産合計 | 171,594 | 252,959 |
| 負債純資産合計 | 846,042 | 890,101 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 530,583 | 394,085 |
| 売上原価 | 127,042 | 60,799 |
| 売上総利益 | 403,541 | 333,285 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費 | 83,463 | 125,412 |
| 販売促進費 | 2,883 | 457 |
| 支払手数料 | 76,583 | 74,807 |
| 役員報酬 | 20,700 | 9,360 |
| 給料及び手当 | 54,720 | 41,208 |
| 地代家賃 | 14,289 | 5,277 |
| 貸倒引当金繰入額 | 40 | 2,150 |
| その他 | 98,065 | 33,980 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 350,747 | 292,654 |
| 営業利益 | 52,793 | 40,631 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,398 | 1,620 |
| 助成金収入 | 10,000 | — |
| その他 | 1,552 | 277 |
| 営業外収益合計 | 12,950 | 1,898 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,830 | 6,079 |
| 支払手数料 | 3,000 | — |
| 持分法による投資損失 | 2,086 | — |
| 為替差損 | 26 | — |
| その他 | 1,024 | 1,383 |
| 営業外費用合計 | 11,969 | 7,462 |
| 経常利益 | 53,774 | 35,067 |
| 特別利益 | | |
| 偶発損失引当金戻入額 | — | 14,528 |
| 償却債権取立益 | 2,000 | — |
| 子会社清算益 | 982 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 67,509 |
| その他 | — | 2,475 |
| 特別利益合計 | 2,982 | 84,513 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 922 | — |
| 不正事件関連損失 | 12,000 | — |
| 偶発損失引当金繰入額 | — | 16,054 |
| 業務委託契約解約損 | — | 5,000 |
| 訴訟関連損失 | — | 9,480 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 6,756 |
| 特別損失合計 | 12,922 | 37,290 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 43,834 | 82,290 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,015 | 565 |
| 法人税等調整額 | 52 | — |
| 法人税等合計 | 1,067 | 565 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 42,767 | 81,725 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 1,589 | △8,487 |
| 四半期純利益 | 41,177 | 90,213 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 42,767 | 81,725 |
| 四半期包括利益 | 42,767 | 81,725 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 41,177 | 90,213 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 1,589 | △8,487 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 43,834 | 82,290 |
| 減価償却費 | 14,177 | 11,996 |
| のれん償却額 | 1,065 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 10,040 | △60,786 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 2,227 | 1,388 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △210 | △2,146 |
| 不正事件関連損失引当金の増減額(△は減少) | — | △21,430 |
| 偶発損失引当金の増減額(△は減少) | — | 1,878 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,398 | △1,620 |
| 支払利息 | 5,830 | 6,079 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 2,086 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 31,385 | 11,709 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 52 | △30 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | △10,564 | 6,995 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △7,570 | 11,003 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △3,797 | △266 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △1,480 | △5,446 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | — | 64,657 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △2,576 | 315 |
| その他 | △13,297 | 5,671 |
| 小計 | 69,806 | 112,257 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,367 | 1,602 |
| 利息の支払額 | △5,900 | △6,408 |
| 法人税等の還付額 | — | 10,451 |
| 法人税等の支払額 | △10,500 | △4,535 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 54,772 | 113,367 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,153 | △8,532 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,193 | △1,175 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △26,010 | — |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △14,013 | — |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | — | 14,013 |
| 貸付金の回収による収入 | 8,738 | 5,935 |
| 定期積金の預入による支出 | △1,500 | △3,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △38,131 | 7,241 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △20,500 | △6,000 |
| 長期借入れによる収入 | 30,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △6,174 | △11,828 |
| 自己株式の取得による支出 | △77 | △47 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,248 | △17,875 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 19,889 | 102,733 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 177,690 | 213,696 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 197,580 | 316,430 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注意事項、個別情報、補足情報等は第2四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。